

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【公開番号】特開2008-202019(P2008-202019A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-142813(P2007-142813)

【国際特許分類】

C 08 L	75/04	(2006.01)
C 08 K	5/20	(2006.01)
C 08 G	59/42	(2006.01)
C 08 L	63/00	(2006.01)
H 05 K	1/03	(2006.01)

【F I】

C 08 L	75/04	
C 08 K	5/20	
C 08 G	59/42	
C 08 L	63/00	A
H 05 K	1/03	6 1 0 H
H 05 K	1/03	6 7 0 Z
H 05 K	1/03	6 3 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月31日(2010.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フレキシブルプリント配線基板の熱可塑性基材用の、ウレタン(X)と、エポキシ樹脂(B)と、有機樹脂フィラー(C)とを含んでなる絶縁性樹脂組成物であつて、前記ウレタン(X)が、ポリオール化合物(a)、有機ジイソシアネート(b)およびカルボキシル基を有するジオール化合物(c)を反応させてなるイソシアネート基を有するウレタンプレポリマー(d)と、ポリアミノ化合物(e)とを反応させてなるポリウレタンポリウレア樹脂(A)、および/または、ポリオール化合物(a)、有機ジイソシアネート(b)およびカルボキシル基を有するジオール化合物(c)を反応させてなる水酸基を有するウレタンプレポリマー(f)である絶縁性樹脂組成物。

【請求項2】

ポリオール化合物(a)が、ジオールと、テレフタル酸およびまたはイソフタル酸を反応させてなるポリエステルポリオールであることを特徴とする、請求項1記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項3】

ポリウレタンポリウレア樹脂(A)、およびウレタンプレポリマー(f)の合計に対し、エポキシ樹脂(B)3~200重量%を含有することを特徴とする請求項1又は2記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項4】

ポリウレタンポリウレア樹脂(A)、ウレタンプレポリマー(f)、およびエポキシ樹脂

(B) の合計に対し、有機樹脂フィラー (C) 0.1 ~ 200 重量%を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 3 いずれか記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項 5】

有機樹脂フィラー (C) が、尿素樹脂系、メラミン樹脂系、ウレタン樹脂系、およびベンゾグアナミン樹脂系からなる群から選らばれる少なくとも1種のフィラーであることを特徴とする請求項 1 ~ 4 いずれか記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項 6】

さらに、融点が 40 以上 180 以下であるワックス (D) を添加することを特徴とする、請求項 1 ~ 5 いずれか記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項 7】

ワックス (D) が、N.N'-エチレン-ビス-ステアリルアミドであることを特徴とする、請求項 6 記載の絶縁性樹脂組成物。

【請求項 8】

フレキシブルプリント配線基板の熱可塑性基材上に、請求項 1 ~ 7 いずれか記載の絶縁性樹脂組成物を層形成したフレキシブルプリント配線基板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明は、ポリオール化合物 (a) が、ジオールと、テレフタル酸およびまたはイソフタル酸を反応させてなるポリエステルポリオールであることを特徴とする上記絶縁性樹脂組成物に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明は、ポリウレタンポリウレア樹脂 (A)、およびウレタンプレポリマー (f) の合計に対し、エポキシ樹脂 (B) 3 ~ 200 重量%を含有することを特徴とする上記絶縁性樹脂組成物に関する。

また、本発明は、ポリウレタンポリウレア樹脂 (A)、ウレタンプレポリマー (f)、およびエポキシ樹脂 (B) の合計に対し、有機樹脂フィラー (C) 0.1 ~ 200 重量%を含有することを特徴とする上記絶縁性樹脂組成物に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明は、有機樹脂フィラー (C) が、尿素樹脂系、メラミン樹脂系、ウレタン樹脂系、およびベンゾグアナミン樹脂系からなる群から選らばれる少なくとも1種のフィラーであることを特徴とする上記絶縁性樹脂組成物に関する。